

(アウトプットのイメージ)(素案)

アクションプラン・重点施策パッケージの検討に向けた
政策課題・重点的取組・個別施策の特定基準の設定に関する提言

科学技術外交戦略タスクフォース

1. 基本的な考え方

- ・平成22年2月にとりまとめた報告書では、2020年までに達成すべき課題と、それに向けて取り組むべき具体策を国際戦略としてとりまとめた。
- ・既に2020年まで8年であり、アクションプラン・重点施策パッケージの検討に向けて、科学技術外交の観点から、早期に推進すべき取組や、直近の外交日程も睨みながら積極的に打ち出していく取組を設定するとともに、個別施策の特定基準の設定に関しても科学技術外交の視点が必要である。

2. 提言

1) 重点的取組の設定に当たっての視点、個別施策の特定基準について

科学技術外交タスクフォースは、新興国の台頭と我が国の少子高齢化という長期的な趨勢の中、科学技術をめぐる我が国の相対的な地盤沈下を避け、外交のための科学技術・科学技術のための外交を強力に推進するため、アクションプランおよび重点施策パッケージに向けた重点的取組の設定に当たっての視点、ならびにこれらに関する個別施策の特定基準について、下記の視点および特定基準も考慮するよう、科学技術イノベーション政策推進専門調査会および各推進協議会・部会・WG・TFに提言する。

- ・優秀な外国の研究者を日本にリクルートし、また日本の研究者が海外で研究を行う等の、頭脳循環(brain circulation)が期待できるか。
- ・日本国内では困難な研究を国外において行う等の、外部資源の内部化が期待できるか
- ・先進国との共同研究と発展途上国への技術移転という従来の枠組みを超えた、新興国および新興国候補国(アジア・中東・アフリカ等)との協力と競争の関係構築が期待できるかどうか。
- ・マーケットまで意識した研究開発から国際標準化まで一気通貫した体制となることが期待できるかどうか(P)。
- ・我が国国内での周知のみならず、取組を積極的に海外で周知する活動が組み込まれ、我が国の貢献が認知されることが期待できるかどうか。

2) アクションプランで想定される具体的な重点的取組

科学技術外交戦略タスクフォースとしては、下記のような取組はアクションプランの重点的取組にふさわしいと考えられるので、科学技術イノベーション政策推進専門調査会および各推進協議会・部会において検討されたい。

- ・イノベーションにつながる国際共同研究を含む取組(再生可能エネルギー 等)
- ・外国人も含めた研究体制を構築する取組(?)
- ・国際標準化戦略を見据えた共同研究を含む取組(?)
- ・頭脳循環を見据えた(ユニークな)大型研究施設、研究拠点を形成する取組
(基礎研究ハブ 等)

3) 重点施策パッケージで想定される具体的な重点的取組(各省への提言)

科学技術外交戦略タスクフォースとしては、下記のような取組は重点施策パッケージの重点的取組にふさわしいと考えられるので、関係する各省において検討されたい。

- ・研究からイノベーションまで一貫(できれば民間参画)し、国際標準化を視野に入れた取組(感染症、IT、環境 等)
- ・外国人も含めた研究体制を構築する取組(地球温暖化関係 等)
- ・国際標準化戦略を見据えた共同研究(衛星データ、論文 等)
- ・外部資源の内部化を見据えたシームレスな若手研究者外国派遣

3. (今回はペンディングとするもの)

平成 25 年度アクションプラン・重点施策パッケージに向けた提言には入れず、10 月時点(予定)の提言に入れることを検討

- ・海外の研究拠点・在外公館・在外研究者との情報交換、海外情報の継続的な収集分析等を通じて国際活動の基盤を強化するため、在外大使館の科学アタッシェを強化し、併せて研究者のキャリアパスとして位置づける。